

●チャールズ・スポルジョンの回心

※テトス 3:5

「神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもって私たちを救ってくださいました。」

「もし今日、あなたの心の中に少しでもキリストに対する愛情があるなら、それは神である聖霊が、その優しさ、力、憐れみ、恵みによって、あなたの魂の墓地を訪れ、あなたを死からよみがえらせてくださったからです。」(R・C・スプロール)

○人の子に対する二つの応答：

1. 人の子を_____ (9-12)

(※エゼキエル 36:25-26「わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。)」

▶「わたしたちは…わたしたちの…」(11)

※ローマ 8:7-8

「というのは、肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。肉にある者は神を喜ばせることができません。」

※コロサイ 1:21

「あなたがたも、かつては神を離れ、心において敵となって、悪い行いの中にあつたのですが」

※エペソ 2:3

「私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあつて、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」

2. 人の子を_____ (13-15)

▶「モーセが荒野で蛇を上げたように…」

※民数記 21:4-9

「彼らはホル山から、エドムの地を迂回して、葦の海の道に旅立った。しかし民は、途中でがまんができなくなり、民は神とモーセに逆らって言った。「なぜ、あなたがたは私たちをエジプトから連れ上って、この荒野で死なせようとするのか。パンもなく、水もない。私たちはこのみじめな食物に飽き飽きした。」」(4-5)

「そこで主は民の中に燃える蛇を送られたので、蛇は民にかみつきました、イスラエルの多くの人々が死んだ。」(6)

「民はモーセのところに来て言った。「私たちは主とあなたを非難して罪を犯しました。どうか、蛇を私たちから取り去ってくださるよう、主に祈ってください。」モーセは民のために祈った。すると、主はモーセに仰せられた。「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上につけよ。すべてかまれた者は、それを仰ぎ見れば、生きる。」モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを旗ざおの上につけた。もし蛇が人をかんでも、その者が青銅の蛇を仰ぎ見ると、生きた。」(7-9)

▶「上げられる」(cf. ヨハネ 3:14[x2]; 8:26; 12:32; 12:34)

※ヨハネ 12:32-33

「わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。」イエスは自分ごどのような死に方で死ぬかを示して、このことを言われたのである。」

「したがって、覚えておきなさい。あなたを救うのはキリストを掴むあなたの力ではなく、キリストです。あなたを救うのはキリストにあるあなたの喜びではなく、キリストです。キリストへの信仰でさえ、それが手段ではあっても、救うのはキリストの血と功績なのです。ですから、キリストを掴むあなたの手ではなく、キリストに目を向けていなさい。あなたの希望ではなく、その希望の源であるイエスに目を向けていなさい。あなたの信仰ではなく、その信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けていなさい。自分たちの祈りや行い、感情を見つめてもそこに幸いを見いだすことはできません。魂に安らぎを与えるのは、私たちが何者であるかではなく、イエスが何者であるかです。もし私たちがサタンに打ち勝ち、神との平和を得たいと望むのなら、『イエスを仰ぎ見る』ことによってのみ可能なのです。ただひたすら主に目を向け続けていなさい。彼の死、苦しみ、功績、栄光、とりなしを絶えず心に留めておきなさい。朝目覚めたときにはイエスを見つめ、夜寝るときにも見つめていなさい。…熱心に従い続けなさい。そうすれば、決してイエスはあなたを見捨てることはありません。」(チャールズ・スポルジョン)